

令和6年(2024年)2月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2024年2月 数量 (トン)	2024年2月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	大根	神奈川県産・千葉県産中心の入荷でした。雨や雪等の影響もあったが、数量は平年並み。平均単価はやや低く推移しました。	723	96	100%	91%
2		はくさい	茨城県産中心の入荷でした。降雨や降雪の影響で数量はやや減少しました。平均単価はやや高く推移しました。	594	74	96%	107%
3		きゅうり	宮崎県産中心の入荷でした。天候が安定しなかったため、数量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	177	515	78%	114%
4		ほうれん草	1月に前倒した分、端坼期となり数量はかなり減少しました。平均単価は安く推移しました。	59	455	71%	89%
5		馬鈴薯	鹿児島県中心の入荷でした。降雨や降雪の影響により収穫が遅れ、数量はかなり減少しました。平均単価は平年並みに推移しました。	296	135	71%	98%
6	果実	その他柑橘	想定より小玉であったり、正品化率の低下などで入荷が少なく、数量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	414	395	75%	112%
7		りんご	作柄が不良のため入荷量が少なく、数量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	216	394	76%	132%
8		いちご	2月に2番果の最盛期を迎えた産地・品種が多く、数量はやや増加しました。平均単価は前年並みで推移しました。	142	1,682	108%	101%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上